

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

H その他

消防分団詰所・

坪野小型動力ポンプ置場

令和4年3月改訂

魚津市

(所管部署：総務課)

目 次

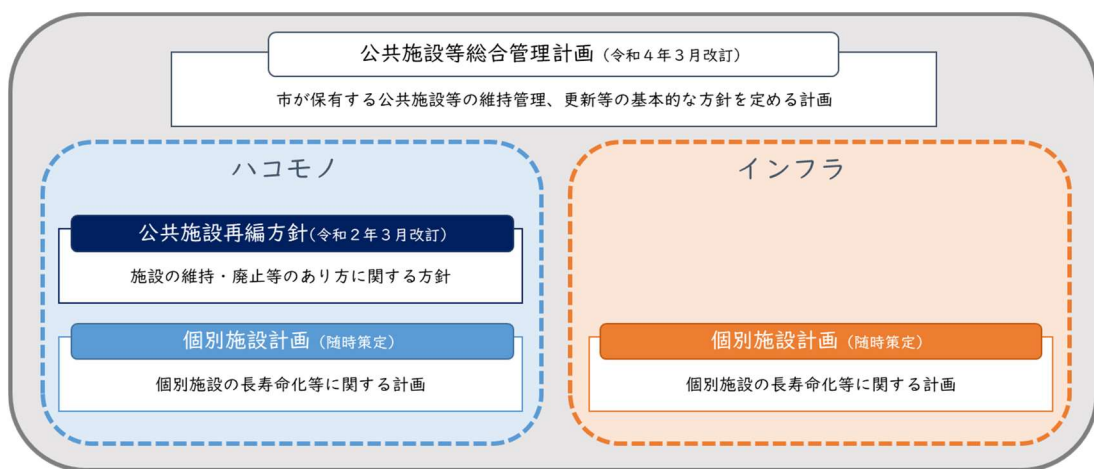
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 5
3. 4	対策内容と実施時期	P 7
3. 5	対策費用	P 8

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「消防分団詰所」及び「坪野小型動力ポンプ置場」とします。

1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

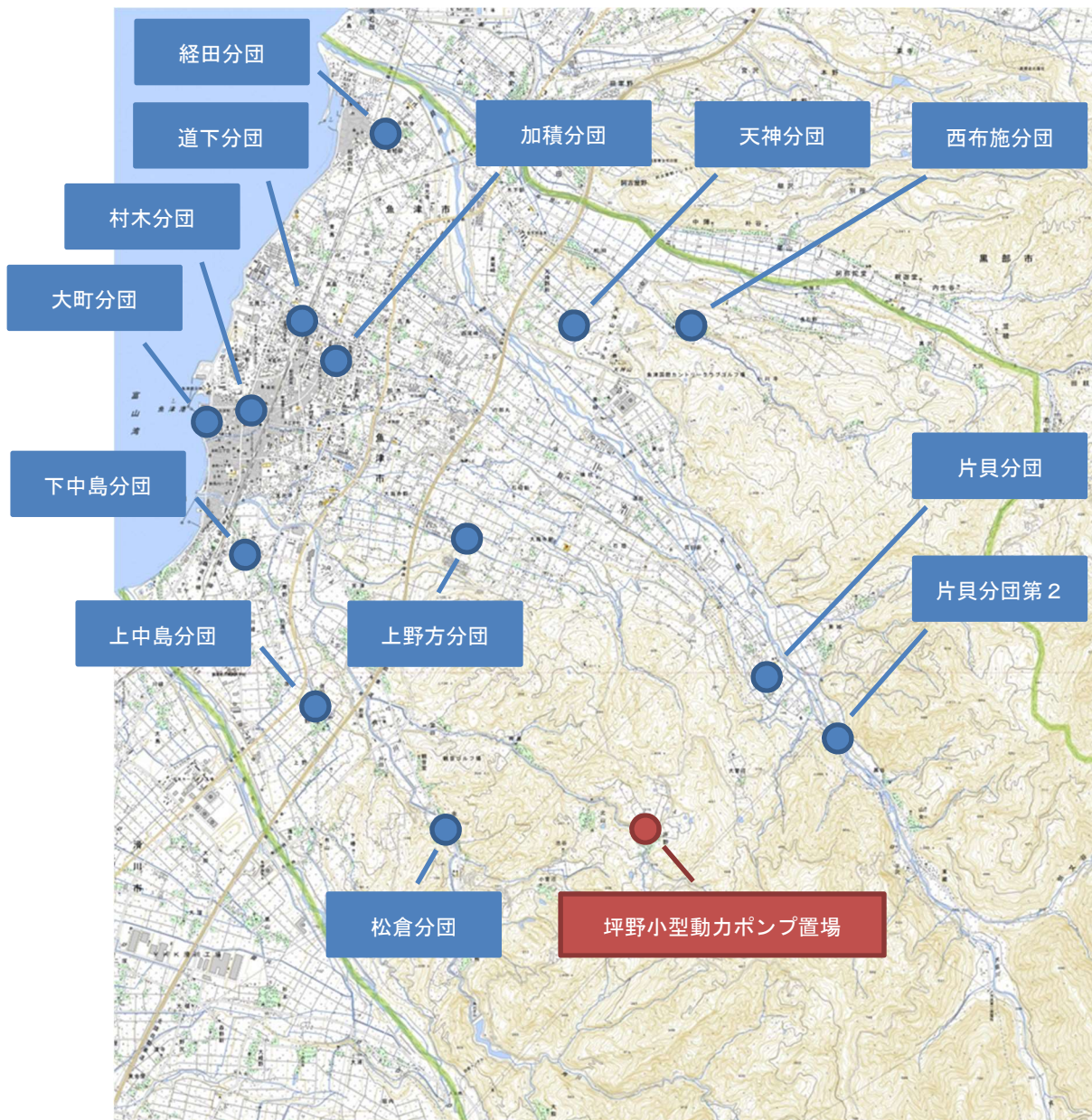
2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況			
									耐震化改修	長寿命化改修		
										屋根	外壁	他
1	村木分団	S55	40	S/2	82.60	215	100.0%		不要			
2	大町分団	H24	8	S/2	126.00	157	21.1%		不要			
3	下中島分団	S62	33	S/2	83.78	654	86.8%		不要			屋外スピーカー (H29)
		H13	19	S/2	19.51		30.8%		不要			
4	上中島分団	S59	36	S/2	83.78	160	94.7%		不要			
		H9	23	S/2	20.78		26.3%		不要			
5	松倉分団	H18	14	S/2	107.48	200 (200)	45.3%		不要			
6	上野方分団	S52	43	S/2	82.60	105	100.0%		不要	防水改修 (H30)		照明設備 (H27)
		H8	24	S/2	14.36		26.3%		不要			
7	本江分団	S48	47	RC/2	85.54	123.38	100.0%		不要			ホース乾燥塔手動ウインチ (H28)
8	片貝分団	H1	31	S/1	100.00	347	83.7%		対象外			床補修 (R2) ホース乾燥塔手動ウインチ (H29)
9	片貝分団第2詰所	S62	33	S/1	70.56	166.16	87.8%		対象外			
10	加積分団	S50	45	RC/2	89.21	85 (85)	100.0%		不要	防水改修 (H2)	外壁・内壁改修 (S58)	シャッター塗装 (H2)
		H7	25	RC/2	18.87		26.3%		不要		外壁改修 (H14)	
11	道下分団	S63	32	S/2	91.84	764	84.2%		不要			
12	経田分団	H3	29	S/2	181.50	616	82.7%		不要			
13	天神分団	S54	41	S/2	82.60	89.58 (89.58)	100.0%		不要	防水改修 (H3)		ホース乾燥塔手動ウインチ (H31)
14	西布施分団	S51	44	S/2	82.60	129	100.0%		不要	防水改修 (H3)		
15	坪野小型動力ポンプ置場	H11	21	LGS/1	13.88	41.41 (41.41)	84.0%		対象外			
	合計				1437.49	3852.53 (415.99)						

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和2年度末時点

2. 2 位置図



施設名称	所在地	施設名称	所在地
消防団村木分団詰所	金浦町305	消防団片貝分団第2詰所	東蔵508ほか
消防団大町分団詰所	本町1-2-39	消防団加積分団詰所	上村木2-1414
消防団下中島分団詰所	住吉2237-3	消防団道下分団詰所	北鬼江2-14-14
消防団上中島分団詰所	吉野1287-1	消防団経田分団詰所	経田中町4-7
消防団松倉分団詰所	金山谷3076-3	消防団天神分団詰所	天神野新219
消防団上野方分団詰所	大海寺野1373	消防団西布施分団詰所	小川寺3324-1
消防団本江分団詰所	友道1958-2	坪野小型動力ポンプ置場	坪野581
消防団片貝分団詰所	島尻1536		

2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）		収支（千円）											
		H30	R1	H30				R1				R2			
				収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	村木分団			0	64	▲ 64	283	0	70	▲ 70	0	0	72	▲ 72	0
2	大町分団			0	84	▲ 84	539	0	76	▲ 76	539	0	67	▲ 67	539
3	下中島分団			0	68	▲ 68	609	0	66	▲ 66	609	0	57	▲ 57	609
4	上中島分団			0	68	▲ 68	512	0	66	▲ 66	512	0	52	▲ 52	512
5	松倉分団			0	191	▲ 191	612	0	96	▲ 96	612	0	88	▲ 88	612
6	上野方分団			0	785	▲ 785	157	0	65	▲ 65	157	0	58	▲ 58	157
7	本江分団			0	83	▲ 83	0	0	62	▲ 62	0	0	48	▲ 48	0
8	片貝分団			0	139	▲ 139	401	0	185	▲ 185	401	0	258	▲ 258	401
9	片貝分団第2詰所			0	28	▲ 28	373	0	28	▲ 28	373	0	28	▲ 28	373
10	加積分団			0	171	▲ 171	189	0	184	▲ 184	189	0	186	▲ 186	189
11	道下分団			0	63	▲ 63	379	0	55	▲ 55	379	0	45	▲ 45	379
12	経田分団			0	144	▲ 144	632	0	137	▲ 137	632	0	134	▲ 134	632
13	天神分団			0	70	▲ 70	216	0	174	▲ 174	0	0	72	▲ 72	0
14	西布施分団			0	69	▲ 69	0	0	57	▲ 57	0	0	51	▲ 51	0
15	坪野小型動力ポンプ置場			0	0	0	29	0	0	0	29	0	0	0	29
	合計			0	2,027	▲ 2,027	4,931	0	1,321	▲ 1,321	4,432	0	1,216	▲ 1,216	4,432

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

消防団詰所は、地域防災力の中核的な役割を担う消防団の拠点施設であり、消防車両等機械器具の保管・維持管理、団員の待機・出動のための重要な施設です。

3.2 現状と課題

現在の15施設のうち6施設が築40年以上、5施設が築30年以上を経過し、老朽化が進んでいるため、計画的な対策が必要です。

3.3 今後の考え方

①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和元年改訂版）抜粋）

<再編方針（共通）>	目標年度：中期（R11）
○地域の安全面を考慮しつつ、耐用年数を迎えた段階で、小学校跡地の活用も視野に入れながら機能集約を図る。	

②対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

③保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

④施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を 60 年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から 20 年及び 40 年を経過する年度から 5 年以内を目途に実施するものとします。

⑤社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化等に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23		
1	村木分団	長寿命化により使用期間を延伸																			★60年		
2	大町分団	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																					
3	下中島分団	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																			③⑧		
4	上中島分団	③⑧	長寿命化により使用期間を延伸																				
5	松倉分団	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																					
6	上野方分団	長寿命化により使用期間を延伸																			★60年経過		
7	本江分団	長寿命化により使用期間を延伸																			★60年経過		
8	片貝分団	適切な維持管理・改修等を実施		③⑧	長寿命化により使用期間を延伸																		
9	片貝分団第2詰所	③⑧			長寿命化により使用期間を延伸																		
10	加積分団	④⑦	長寿命化により使用期間を延伸																				
11	道下分団	適切な維持管理・改修等を実施		③⑧	長寿命化により使用期間を延伸																		
12	経田分団	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る			③⑧	長寿命化により使用期間を延伸																	
13	天神分団	長寿命化により使用期間を延伸																			★60年		
14	西布施分団	長寿命化により使用期間を延伸																			★60年経過		
15	坪野小型動力ポンプ置場	②⑤		長寿命化により使用期間を延伸																			

※ ②⑤、③⑧、④⑦は、減価償却資産の耐用年数（構造により異なる）を表しています。

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

3. 5 対策費用

計画期間における概算費用は、施設類型全体で約1億7千万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。